



◎本ニュースレターは、木曾三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信するものです◎

今号で20号を迎えました！コロナ禍を乗り越え、現地でみなさんにつながる機会も増えてきました。そのような状況の中、事務局が実施する「各種活動支援に関するアンケート調査」を行いました。回答数がちょっと少なめかな…という印象ですが、応援団に加入している方は、みなさん支援を受けられますので、ぜひ有効活用してくださいね！

木曾三川流域エコネット応援団の 各種活動支援に関するアンケート調査 を行いました！

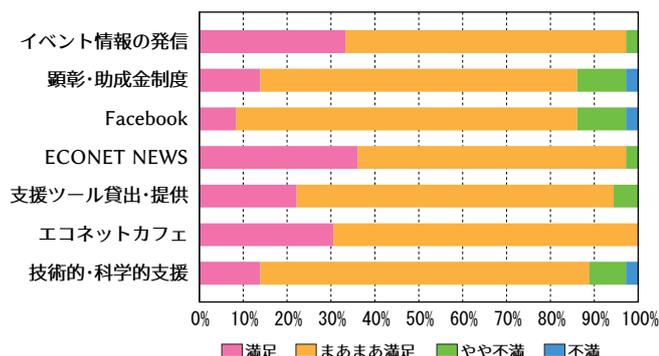
ご協力ありがとうございました！

昨年の10月27日から11月28日にかけて、エコネット応援団のみなさまや木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会の関係者の方々に、事務局が実施する各種活動支援の活用状況や満足度等に関するアンケート調査を実施しました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました！

応援団のみなさまに、もっと効果的に利用していただけるよう、今回のアンケート結果を活かしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお祈りします。

各種支援に対する満足度

満足度について、どの項目も「満足」、「まあまあ満足」と回答した割合が80%以上、そのうちイベント情報の発信、ECONET NEWS、支援ツール貸出・提供、エコネットカフェについては90%以上を占めました。



- 調査対象** エコネット応援団参加団体、協議会関係者(91名)
- 調査期間** 令和4年10月27日～令和4年11月28日
- 調査項目** ①各種支援の認知度・利用実績
②支援に対する満足度
③今後の支援に対する要望
- 調査方法** WEB回答(メール、郵送により回答用URLを配布)
- 回収状況** 36票(回収率 39.6%)

各種支援のご紹介

みなさんの活動に、ぜひお役立てください

イベント情報のメール配信 Facebook ECONET NEWS	エコネット応援団を対象とした情報共有(研究発表会や助成・人材紹介制度のお知らせ等)を中心に、広く情報発信しています。(FacebookのURLは裏面へ！)
顕彰・助成金制度	みなさんの活動に役立ちそうな、助成金制度などをメールで配信しています。
技術的・科学的支援	応援団の皆さんの現地活動の一助となるよう、技術的な支援(効果的な対策法や専門家の紹介等)を行っています。気になる方は、事務局へご相談を！
支援ツール貸出・提供	資料・機材(取り組み紹介パネルやロゴ入りのぼり旗等)の貸出支援をしています。ご利用希望の方は、事務局へお申込みください。
エコネットカフェ	エコネット応援団の皆さんが集まる交流会を年1回開催し、現地見学や研究発表、グループディスカッションを行っています。日ごろの活動の悩みや強みを共有したり・相談する場となっています。



支援についてのご意見

ロゴ入りのぼり旗▶

- ◎できるだけ早い時期での情報提供があるとありがたい。
- ◎もっと積極的なPRをお願いします。

〔岐阜県池田町〕

2023年6月27日(火)

ハリヨを守る会の皆様が、 ハリヨ学習会を実施しました！

上八幡集落センターにて、池田町ハリヨを守る会の皆様が、池田町立八幡小学校の4年生に向けてハリヨ学習会を実施しました。八幡小学校では6年以上にわたりハリヨの学習会が実施されており、今年は2



▲池田町ハリヨを守る会による講話の様子

クラス50人の小学生がハリヨや環境について学びました。

学習会では、ハリヨの生態やハリヨが生息する清水池の歴史、川をきれいに保つことの大切さについての講話が行われました。子どもたちからは、ハリヨの名前の由来やハリヨを守る会の活動、ハリヨはなぜ冷たい水にいるのかななどの質問がありました。今回のハリヨ学習会を通し、子どもたちからは「これからハリヨを守ることを意識していきたい」との感想がありました。

池田町 ハリヨを守る会

林会長へのインタビュー

Q1.ハリヨ学習会の狙いは何ですか？

A1. 子供たちに、環境を守ることの大切さを伝えるのが狙いです。ハリヨがすみやすい、水がきれいな環境を守ることが、自分たちの豊かな生活を守ることにつながります。

Q2.活動の中で工夫していることを教えてください。

A2. ゴミ拾いに取組みやすくなるよう、池田町に依頼して地域の住民がボランティアで集めたごみを北部・南部リサイクルセンターで分別してもらっています。

Q3.日々の活動の中で困っていること等がありますか？

A3. 池や川にごみを捨てる人がおり困っていますが、夏まつりの時期になると、金魚すくい取った金魚を清水池に放たれることがあり困っています。ここ最近も21匹の金魚が清水池に放たれ、在来種では無い金魚を回収しなければならず、とても苦労しています。

Q4.今後の活動の展望について聞かせてください。

A4. 今回のハリヨ学習会のような、若い世代との交流に引き続き力を入れていきたいです。

イタセンバラを守ろう！木曾川水系イタセンバラ保護協議会「第15回木曾川合同パトロール」を実施しました

木曾川水系イタセンバラ保護協議会では、5月21日(日)にイタセンバラの保護意識の普及啓発・密漁監視を目的とした「第15回木曾川合同パトロール」を実施しました。パトロールは木曾川中流域の一宮市起地区、羽島市石田地区にて実施し、参加者は総勢40名程度となりました。

また、起地区では地域のイベントである「三世代交流木曾川ウォーキング大会」に参加の250名をこえる方々にも、イタセンバラの現状や保全への取組みについて説明することができました。

年々、地域の人々のイタセンバラへの興味や保全への関心が強くなっていることを頼もしく思います。これら協議会の取組みが地域のイタセンバラ保全推進に寄与することを願ってやみません。



▲多くのみなさまにイタセンバラの現状や保全の取組みについて知っていただく機会となりました。

劇団シンデレラさまよりご寄稿いただきました！

2023年2月

劇団シンデレラさんの活動が「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」に採択されました！

劇団シンデレラの活動が、創意工夫を凝らした独自の生物多様性に関連した「環境保全活動及び環境学習事業」として採択されました。

この助成で衣装や大道具、小道具を作り、豊田市自然観察の森で新作ミュージカル「ゴールデンウィークは森へ行こう」を発表し、森の大切さを100人以上の県民の方々に届けました。

地球はどんどん暑くなっています。みどりの森がなくなったら、私たちの豊かな暮らしも発展もできません。地球は「みんなのもの」というテーマをわかりやすく伝えることができよかったです。



▲劇団シンデレラのみなさん。ミュージカル「ゴールデンウィークは森へ行こう！」を通じて、サシバの棲む里山と湿地の大切さを伝える活動が交付対象事業となりました。

あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業について

愛知県では、NPOやボランティア団体などの多様な主体が行う自発的な森と緑の保全活動や、森と緑を社会全体で支えるという機運を醸成する環境学習の取組を促進するため、2009年度から「あいち森と緑づくり税」を活用して「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を行っています。2023年度は、109団体・112事業の企画提案があり、101団体・104事業を交付対象事業として決定しました。

「イタセンバラカードゲーム」の楽しみ方が動画になりました！



愛知県立一宮高等学校生物部が作成した「イタセンバラカードゲーム」の遊び方がわかる動画が作成されました。イタセンバラカードとは、一宮高等学校の学生さんが考案したカードゲームで、絶滅危惧種であるイタセンバラを守るために、遊びながら学べるよう作られています。

一宮市内の全小学校に配布され、一宮市尾西歴史民俗資料館で遊ぶことができます。カードゲームを通して、イタセンバラに興味をもってもらうきっかけになるといいですね。また、遊んだ後はアンケートにもぜひ協力してくださいね！

YouTubeをご覧くださいね！

掲載用情報を募集しています！

事務局では、このニュースレターやfacebook ページで、木曾三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信しています。生物多様性の保全や生きものを活用した地域づくりなど、応援団の皆さんからの投稿・情報提供を随時募集中です。下記お問い合わせ先まで、お気軽に情報をお寄せください。(なお、紙面の都合等で取材・掲載できない場合もありますこと、予めご了承ください。)

事務局では、このニュースレターやfacebook ページで、木曾三川流域



Facebookにて
情報を発信中！

！ぜひご覧ください！



<https://www.facebook.com/kisosanseneconet/>



木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会(事務局：国土交通省木曾川上流河川事務所)は、川とともに育まれてきた流域の自然や文化を保全・活用し、地域の魅力を向上させるとともに、人と自然・人と人の絆を深めることを目的とし、流域の市民団体・自治体・有識者・河川管理者等によって、平成26年度に設立されました。

本協議会では、木曾三川流域において、自然環境を保全・再生・創出してつなげる「生態系ネットワーク形成」に関連する活動を行う(または賛同する)、地域のさまざまな団体等に参加していただく「木曾三川流域エコネット応援団」を結成しています。応援団の皆さんの活動に関する情報共有を図ることにより、地域の交流・協働を促進し、取り組みのさらなる発展を目指していきます。

「木曾三川流域生態系ネットワーク」ホームページ <https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojoyo/econet/index.html>

木曾三川流域エコネット応援団 事務局：国土交通省 木曾川上流河川事務所 流域治水課 (岐阜県岐阜市忠節町5-1)

【問い合わせ先】木曾川上流河川事務所 流域治水課 e-mail: cbr-kisojoyo-chosa@mlit.go.jp / tel: 058-251-1125

